

# きらい



令和元年7月23日  
杉並区立杉並和泉学園  
学園長 田中 稔  
担任 寺本 真央  
後藤 智幸  
宮本 樹  
岩谷 奈甫  
副担任 竹内 淑香

1学期も終わり、長い夏休みが始まりました。家族や友達と充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。また、この夏休みは1学期に学習したことを復習できる大切な期間でもあります。1学期の学習内容で、お子さんが苦手なところや習得しきれていないところを重点的に復習し、学び残しがいない状態で2学期を迎えられるとよいです。ご家庭でもサポートをよろしくお願いいたします。

## 確かな学力を育む取組

学園では学習内容をより定着させるために、学び残しやつまずきを減らすための個別学習を充実させたり、共同学習を推進したりするなど、授業改善に取り組んでいます。また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習（1年生は2学期から）や家庭学習の見直しを図っています。

特に、1年生では国語・算数の学習において以下の力を付けることを目指していきます。

### 国語

#### <授業改善のポイント>

#### 話す力・聞く力

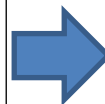
- ① 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを集中して聞き、話の内容をとらえる。
- ② 自分の経験したことや伝えたいことなどを順序をよく話す。



- ・自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりして、ペアやグループで話し合います。
- ・学級全体の前で、順序よく話したり、話の内容を受けて質問したりします。

#### 読む力

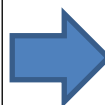
- ① 事柄の順序や場面の様子、登場人物など、内容の大体をとらえ、感想をもつ。
- ② 文章を読んで大事な言葉や文を見付ける。



- ・全体読み、「。」読みなど、音読の時間を充実させます。
- ・物語や説明文を読み、感想を書く時間を多く取り入れます。
- ・文章にサイドラインを引いたり、大事な言葉に印を付けたりします。

#### 書く力

- ① これまでに学習したひらがな、今後学習するカタカナ、漢字を正しく書く。
- ② 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書く。



- ・新しく学習した字を、積極的に使っていくように指導します。
- ・濁音(゜)、半濁音(゜)、促音(っ)、拗音(ゃ、ゅ、ょ)、長音(のばす音)、を正しく使えるように指導します。
- ・「は」と「わ」、「を」と「お」、「へ」と「え」を書き分けられるように指導します。
- ・書いた文は、一度読み返すようにします。

## 算数

### <授業改善のポイント>

#### 計算する力

- ① 数を、10のまとまりとしてみる。
- ② 10までの数を合成・分解する。
- ③ くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算を正確に計算する。(2学期以降)
- ④ 文章を読んで、式を立てる。



- ・ブロックなどを用いたり、図をかいたりして、数のイメージを深めます。
- ・ドリルやプリントを使って、繰り返し学習していきます。
- ・計算カードを用いて定着を図ります。
- ・文章のキーワードに着目させたり、図をかいたりすることで、式のイメージを確立させます。

#### 測定する力

- ① 時計を見て、何時、何時半、何時何分をよんだり、用いたりする。

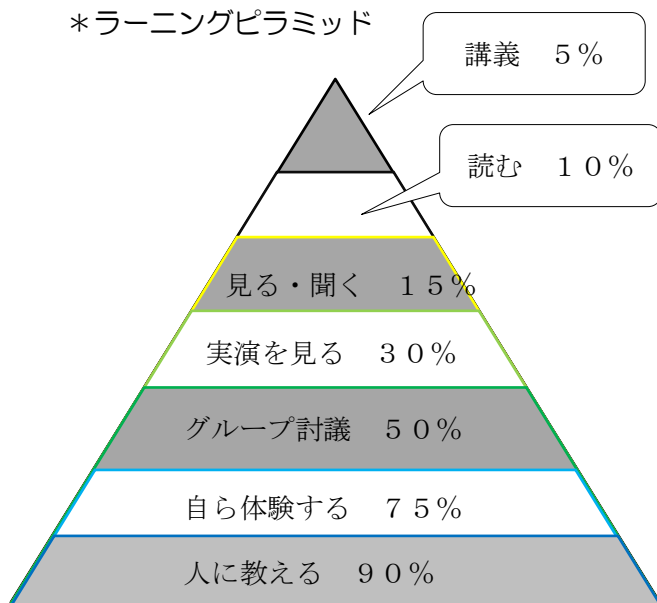


- ・時計の長針と短針の役割を理解させます。
- ・日常生活の中で、時刻で知らせるようにして、よめるようにします。

そのほかにも、ただ求められた答えを出すのではなく、「どのように考えたのか」という考えの道筋を大切にしながら、学習を進めています。このことによって、思考力や表現力が養われます。また、自分の考えをもったり、友達の考えを聞く時間を大切にすることはもちろん、ふりかえりの時間を充実させることで、その日に何を学習したのか意識させ、学びに向かう姿勢を育てます。

**家庭でお願いしたいこと**…既習の学習内容の復習の時間をもってください。宿題はさせっぱなしではなく、正しくできているか確認してあげてください。(詳しくは次ページ参照)

#### \*ラーニングピラミッド



これは、学びの定着具合をしめした図です。この図によると、話を聞いただけ(講義)では、内容の5%しか定着しません。もっとも定着するのが、「他の人に教える」の90%です。

そこで、ぜひ学校での出来事を聞く際に、その日の学習内容についても話を聞いてあげる時間を作ってください。教科書やノートを見ながら、その日の学習を思い出させるとよいです。

大人が知っていて当然の内容も初めて聞いたかのように驚いて聞いてあげることが大切です。子供を「先生」にしてあげてください。

初めのうちはお子さんが内容をしっかり話せる必要はありません。保護者の方が「それで?それで?」と聞き返したり、「そうなんだ!すごいね!」と共感したり、ほめてくれたりすることで学ぶ意欲が高まります。それだけでなく、「次はもっとお家の人に教えてあげよう。」という気持ちも授業に向かう姿勢につながります。

## \* 1年生の家庭学習

### <毎日の宿題>

#### 音読

ひらがな、漢字（2学期以降）、句読点や文の切れ目など、正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、感想を伝え合ったり、質問して内容を確認したりしてあげてください。

#### 国語プリント

終わったら正しくできているか確認してあげてください。ひらがな、カタカナを正しく理解し使えるように、間違いがあれば意識させ、必ず正しく書き直させることが大切です。（特に「ゝ」、「゜」、「っ」、「ゃ・ゅ・ょ」、のばす音のあることば（おとうさんなど）、文の中の助詞「は・を・へ」、文の中の「、」や「。」はつまずきのある子が多いです。）

#### 漢字（2学期以降）

終わったら内容を確認し、ほめてあげてください。

- ・漢字ドリル・・・新しく習った漢字練習をします。その漢字を使った言葉や文を考えて書くところもあります。当て字になっていないか確認してください。書き順も重要です。また、鉛筆を正しく持つことで、姿勢が良くなりちょうど良い筆圧になります。そして、バランスの良い字が書けます。
- ・漢字練習帳・・・漢字小テストを行うページを練習します。ドリルを見て、正しく漢字を書いたり、読みがなを書いたりできているか確認してください。

#### 計算

けいさんスキル（2学期以降）やプリントで計算練習をします。間違った問題は、すぐに直しをすることが大切です。直したら、すぐに提出しましょう。

### <家庭でこんな学習してみよう>

子供の実態に応じて、今どんな学習に取り組むべきか一緒に考えてアドバイスしてください。

例えば・・・授業で学習したことの復習や、自分の課題を克服するための学習、興味や関心のあることを追究する学習

#### 《国語》

- 「っ」「ゃ・ゅ・ょ」を使った言葉づくり・・・促音、拗音を正しく使う力が定着します。
- 助詞「は・を・へ」を使った文づくり・・・「、」や「。」、助詞を正しく使う力が定着します。
- 新出漢字で言葉づくり・・・漢字を正しく「使う」ことができるようになります。  
（2学期以降）新しい語彙を増やすことにつながります。
- 読書・・・読んだ後に感想を話し合えるとさらに力（読解力・思考力）が伸びます。  
初めて聞く言葉や意味を知りたがった言葉があれば教えてあげてください。語彙が増えます。

#### 《算数》

- 10の補数・・・「9と1で10」「8と2で10」「7と3で10」のように、合わせると10になる組合せを「10の補数」と言います。  
「4と？」と質問してお子さんに「6！」と答えさせるなど、やり取りをしながら楽しむことができます。
- 計算カード・・・覚えるぐらい繰り返し計算カードを取り組んでください。そのなかで、きまりを見つけたり、ゲームをしたりして計算が出来る楽しさを味わわせてください。
- 文章問題を解く・・・計算はできても、立式はできないという子が多いです。文章中からキーワードを見つけて式を自分で考えることにチャレンジさせて下さい。ブロックや絵・図等で考えるとよいです。